

平成 22 年度 事務事業事後評価調書 (平成 21 年度事業)

整理番号 7 - 3

1 事務事業の表示

: 該当

事務事業名		子育て支援拠点事業				
評価者	担当課名	児童センター		担当係名	児童センター係	
	管理職	職名	館長	作成者	職名	係長
		氏名	淡路至尊		氏名	斉藤智美
事業の概要	地域全体で子育てを支援する基盤を形成し、育児の悩みを抱える母親への相談指導やサークルへの支援、遊びを通して親子の楽しい交流の場など地域の子育て支援を進める。				全体計画 (平成 20 年度 ~ 24 年度) 国・道支出金 18,270 千円 地方債 千円 その他 105 千円 一般財源 千円 事業費計 18,375 千円	
実施方法	直営	民間委託		その他 ( )		
第 5 期 総合計画 (前期)		登載事業		非登載事業	優先度	A
事業の位置付け	政策目標	2 めくもり・雄武 ~ 保健・医療・福祉の充実 ~				
	基本施策	8 子育て・子育ての充実				
	単 位 施 策	2 「子育て」支援の強化				
	事務事業の種類	自治事務		法定受託事務		
	その他計画・根拠等	次世代育成支援行動計画				
事業費	実施年度	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(見込)	23年度(計画)	24年度(計画)
	国・道支出金	3,681 千円	3,440 千円	750 千円	3,654 千円	3,654 千円
	地方債	千円	千円	千円	千円	千円
	その他財源	15 千円	10 千円	千円	21 千円	21 千円
	雄武町負担額 (一般財源)	千円	千円	千円	千円	千円
	合 計	3,696 千円	3,450 千円	750 千円	3,675 千円	3,675 千円

282

2 事務事業の目的・内容 (Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	子育て家庭	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)			
【抱える課題やニーズは】	子育てに不安やとまどいを感じる母親が増加している。	利用者数、あそびの広場開設数			
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	地域全体で子育てを支援する基盤を形成し、育児支援を図る。	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値		
		年間利用者数	目標年度	平成21年度	
			目標値	4,800 人	
			実績値	3,674 人	
達成度	76.5 %				
【その結果、どのような成果を実現したいか】 成果 = 目的	育児の不安や孤独な子育ての解消がはかれ、子どもが健やかに育つ。	あそびの広場開設数	目標年度	平成21年度	
			目標値	90 回	
			実績値	100 回	
			達成度	111.1111 %	
内 容(どのような手段で何を行ったか)					
あそびの広場	仲よし親子教室を実施して年齢に応じた遊びの指導を行い、仲間作りの場の提供を行った。				
ほかほか広場	学校の夏休み、冬休み期間中に「ほかほか広場」を実施し、小・中・高生との交流の機会をもった。				
特別保育事業					

### 3 事務事業の評価(Check)

(1) 事務事業の必要性(町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか、当該事務事業を実施しない場合の支障、既存事務事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要 必要 / 概ね必要 / 課題あり	<input type="checkbox"/> 義務的なもの	少子化や核家族化などにより、育児不安感や負担感が増加する中、親子の遊びの場や交流の場の確保、相談・援助の実施など子育て支援は必要である。
	<input type="checkbox"/> 全部 <input type="checkbox"/> 一部	

(2) 事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効 有効 / 概ね有効 / 課題あり	設定した目標値の達成状況	子育て支援センターを利用することにより、子育ての情報交換や仲間づくりの貴重な場となっている。
	<input type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 下回る	

(3) 事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的 効率的 / 概ね効率的 / 課題あり	判断の理由	児童センターを利用することにより、備品等の共用ができる。
	<input type="checkbox"/> 事業費抑制 <input type="checkbox"/> 人員削減 <input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減 <input type="checkbox"/> その他	

(4) 事務事業の公平性

公平 公平 / 概ね公平 / 公平でない	判断の理由	町内全ての乳幼児・保護者の利用可能。町広報等に子育て支援センター情報を掲載。
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある <input type="checkbox"/> 受益者負担がない <input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る <input type="checkbox"/> その他	

### 4 総合評価(A~D)

- A: 計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等  
 B: ほぼ計画通りに進んでいるが目標に達成していない。事業の進め方に改善が必要 等  
 C: 当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等  
 D: 事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
<b>A</b>		
今年度はインフルエンザの影響で利用者数は減少したが、子育てに悩みを抱える母親にとって、情報交換、仲間づくりの貴重な場となっていることから今後も計画通り進めることが適当と判断す		

今後の展開方向  
(Action)

継続 / 現状維持		
平成22年度より若草保育所内に移転することで、より一層情報交換や交流の場となり、子育て親子が利用しやすい環境が整えられる。		

\* 展開方向の区分

継続 / 現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更 終了 休止 廃止

### 5 その他特記事項 (アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

--